

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と20年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	第1期・第2期市街化調整区域污水管渠布設事業	所管	下水道部下水道建設課
			TEL 2998-9217

事業目的 (何の為に 行うか)	市街化調整区域の下水道整備を進める事により、調整区域内の下水道普及率を高め市民生活の向上を促進する。
-----------------------	----------------------------------------------------

事業の 具体的 内容	計画 全体	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度から平成19年度の5年間にて整備面積139.9haを完了。(第1期整備) 整備面積145.8haの認可を受け整備期間、平成20年度から平成24年度の5年間ににより計画的にすすめる。(第2期整備)
	平成 19 年度	平成19年度(18.7ha)にて第1期市街化調整区域の整備を完了した。

事業の 推進状況	進捗 率	～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度
		87.6	100.0	20.0	40.0	60.0	80.0	平成 24 年度
	見込まれる総事業費(千円)		第2期5,300,459		事業開始からの累計額(千円)		第1期6,098,379	

H19 経費	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	995,250	1,060,275	1,151,397	3,395.9

成果 (結果として どうなったか)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	整備面積・達成率	整備面積(実績)/整備計画面積(目標値)・達成率(%)	31.9ha 単位 分	18.7ha 単位 分	58.6 単位 %

今後の 方向性 (所管の 意見)	◎事業計画の見直しの必要性・・・ 有り * 無し ◎事業実施方法の見直しの必要性・・・ 有り * 無し
	◎総事業費見直しの必要性・・・ 有り (増額 減額 休止 終了) * 無し

今後の 方向性 (二次評価 の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

平成 20 年度事務事業評価表(公共事業用)

事務事業名		担当	部課コード	080200	TEL	2998-9217
事業コード	第1期・第2期市街化調整区域汚水管渠布設事業	担当部課	下水道部下水道建設課			
080201		グループ	汚水整備担当			
開始年度 平成 20 年度 → 終了年度 平成 24 年度						
事業の種別	<input type="checkbox"/> 土地利用 <input checked="" type="checkbox"/> 土木建設 <input type="checkbox"/> 建築	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 複数年度	
① 事業の概要	根拠法令 下水道法・都市計画法・環境基本法					
	分野別計画・指針 汚水整備計画・下水道設計指針					
	関連・類似事業					
	総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	6節 下水道	中柱
					1計画区域の整備	小柱 (1)公共下水道の整備
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 38 位 ・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○					
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ					
	コード	3621		コード		
	事務改善活動等の充実・強化					
	事業開始の背景	平成19年度末で、第1期市街化調整区域の下水道整備が完了した。平成20年度より第2期市街化調整区域の下水道整備に着手した。				

② 事業の内容	目的(何のために行うのか、具体的に)					
	市街化調整区域の下水道整備を進める事により、調整区域内の下水道普及率を高め市民生活の向上を促進する。					
	事業開始後の環境変化(人口推移等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)と対応					
	平成15年度より市街化調整区域の汚水整備が進み、生活環境が改善された。					
	事業の具体的な内容及び実施方法					
	計画全体	・平成15年度から平成19年度の5年間に整備面積139.9haを完了。(第1期整備) ・整備面積145.8haの認可を受け整備期間、平成20年度から平成24年度の5年間に計画的にすすめる。(第2期整備)				
	H19	平成19年度(18.7ha)にて第1期市街化調整区域の整備を完了した。				

③ 事業の推進状況	事業の進捗率(%)						総事業費(予)(千円)
	～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	87.6	100.0	20.0	40.0	60.0	80.0	平成 24 年度
	解決すべき課題とその対応策						H19までの事業費累計(千円)
	第1期同様、認可区域を整備するに当たり、住居等がまばらに点在する区域をいかに効率的に整備するかが課題とされるが、下水道排水経路及び施工方法を検討し、より効果的な整備を進めている。						
							第1期6,098,379

④ 経費	《会計種別》	特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		911,147	995,250	1,328,573	
	決算(見込み含む)		863,127	1,060,275		
	正規職員人件費	11.25 人	103,500	9.70 人	91,122	
	公債費		0	0		
	事業費合計		966,627	1,151,397		
	財源内訳	一般財源		0	91,122	0
		国・県支出金		65,500	344,000	330,500
		受益者負担金		128,557	80,000	150,000
		市債		627,100	540,000	708,800
その他			145,470	96,275	139,273	
市民一人当たり(単位:円)			2,860.8	3,395.9		

⑤ 指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H 20	将来目標		
	成果分析	整備面積・達成率	整備面積(実績)/整備計画面積(目標値)・達成率(%)	分	目標値	35.0ha	31.9ha	30.0ha	145.8ha
					実績	35.3ha	18.7ha		実績値の拡大を図る1
				%	達成率	100.9	58.6		実績値の縮小を図る2
1									
⑥ 標	成果指標の設定理由及び目標値の考え方	第1期市街化調整区域(認可面積139.9ha)整備完了(H15年度～H19年度) 第2期整備対象区域:岩岡町.北中1・2・3丁目.青葉台.北岩岡.中新井.中富.中富南1丁目.北原町.久米.山口.上山口.北野1・2・3丁目.北野南1・2丁目.三ヶ島3・4・5丁目の一部(認可区域145.8ha)について5年間で行う。							

⑥ 一次評価	評価項目	評価内容			
	妥当性	事業の優先度・緊急性	公共下水道の目的である、生活環境改善のため整備をすすめている。		
	効率性	事業実施手法の効率化及びコスト削減の取り組み	平成19年度にて、第1期整備も完了し下水道管理設に伴う、排水経路及び経済的な施工方法により効率的な事業ができ、整備目標の100.9%の達成が得られた。よってコストの削減も達成できた。		
	効果・便益	事業に要する費用と効果(便益)の比較	整備が進むにつれ、住民の生活環境も向上している。		
H 20	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	目標設定	予定整備面積30.0haを完了する。	整備完了地域の生活環境が向上する。	平成21年3月	
⑦ 評価	事業計画の見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し ⇒	方向性及び今後の	平成15年から平成19年の5年間事業を行った。予定どおり順調に進んでおり、今後もこの方法で続行する。	
	事業実施方法の見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し ⇒		計画的に、埋設場所及び工事方法等により、予定どおりに順調に進んでいる為、今後もこの方法で続行する。	
	総合評価	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り⇒(<input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了) <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し			
	理由	第1期市街化調整区域汚水管渠布設事業は、平成15年度から平成19年度の5年間で予定どおり完了した。引き続き、下水道整備計画において、平成20年度から平成24年度の5年間で第2期布設事業を行う。			
	評価日	平成20年6月4日	記入者職氏名	下水道建設課長 杉村雄三	

⑦ 二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 2 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
⑧ 評価	優先度	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業		
	見込まれる貢献度	市長マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	市街化調整区域の生活環境改善のために積極的に取り組まれた。大きな予算がかかることから、災害に強い施工方法、材料のコスト削減を視野に入れ進められた。				

⑧ 外部評価	外部評価	《外部評価の実施》 H19 <input type="checkbox"/> H20 <input type="checkbox"/> ※本事業は外部評価の対象になっていません。				
	対応					

⑨ 環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	121		
⑩ 施策体系	1-2水質汚濁の防止	施策の方向	1-2-1生活排水・下水道整備等の浄化対策の推進		